

緩和ケア

緩和ケア認定看護師
山田 千幸



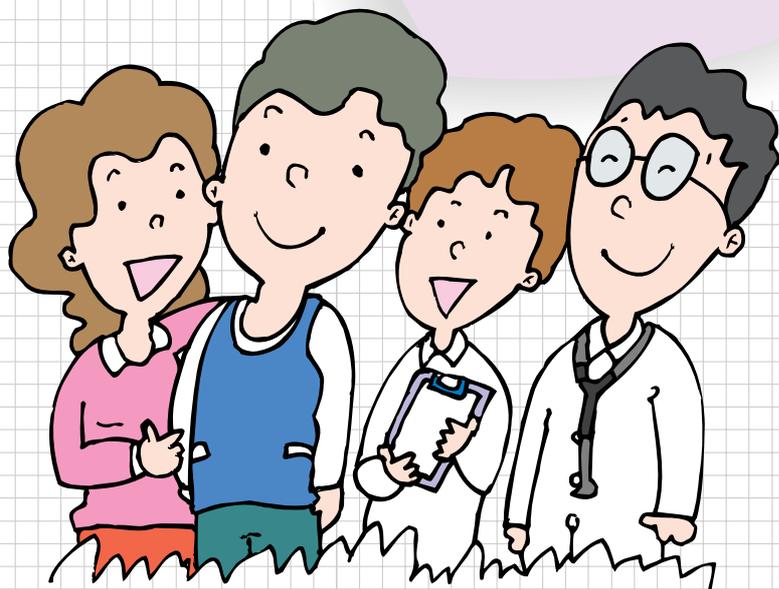
みなさんは「緩和ケア」という言葉を聞くと、どのようなイメージをお持ちでしょうか。一般的に「がんの末期の人が受けるもの」と思っている人が多いようですが、「緩和ケア」は、がんの末期の人だけをケアすることではありません。

「緩和ケア」とは、がんと診断された時点から手術療法、放射線療法、化学療法などの治療と並行して、痛みや様々な症状を和らげ、不安や悩みが軽くなるように支援し、その人らしい生活を送ることができるようにしていくことです。

また、大切な家族の一人ががんになったとき、ご家族は大きなショックや不安を抱えながら、重大な決断もしなければなりません。

「家族は第二の患者である」といわれるように、「緩和ケア」では、ご家族に対してのケアも行っていきます。

身体や気持ちの面で苦しさを抱えているときには、主治医や看護師に気軽に相談ください。



緩和ケアチーム

当院には、緩和ケアチーム（医師4名・薬剤師2名・看護師3名）があります。

現在は、入院患者さんを中心に、がんによる痛みや、その他の苦痛を伴う症状、心理的・社会的な負担を少しでも和らげられるよう、主治医と協力して相談・治療にあたっています。



痛みを我慢していませんか？

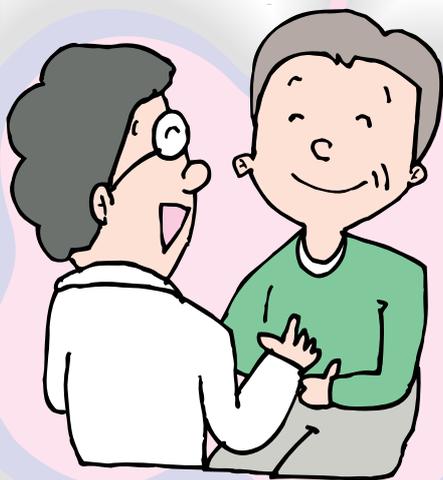
がんになると様々な要因で痛みが発生します。痛みを我慢していると、患者さんだけでなく、家族など周りの人たちも辛い気持ちになってしまいます。痛みのない生活ができるように、主治医や看護師に相談してください。

痛みを和らげるために、医療用麻薬を使うことがあります。医療用麻薬と聞くと、怖いイメージを持っている人もいらっしゃると思います。

医療用麻薬は安全性の高いお薬です。医師の指導のもと、正しく服用すれば、中毒になることはありません。また、身体に悪い影響を与えることもほとんどありません。

治療によって痛みが和らいだ場合には、お薬を止めることもできます。

医療用麻薬を使った痛みの治療は、前向きながん治療にも繋がります。痛みは我慢せず、主治医や看護師にご相談ください。



採用情報

JR西日本の直営病院である大阪鉄道病院では随時採用の募集を行っています。
各部門の募集状況につきましては、当院のホームページ
(<http://www.jrosakahosp.jp>)

をご確認ください。

なお、募集要項、エントリー、病院見学会の日程など、詳細につきましては
下記のお問い合わせ先までお願いします。

選考の流れ



お問い合わせ先

〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町1丁目2-22 大阪鉄道病院 総務課 採用担当
TEL：06-6628-2221(内線2353)

病診連携による 生涯教育研修会開催

さる9月17日（土）、天王寺都ホテルにおいて、地区医師会（阿倍野、東住吉、平野）・大阪市医師会連合会及び大阪鉄道病院共催による「第38回病診連携による生涯教育研修会」が開催されました。

この研修会は、地域の医療機関の皆様を対象とした研修で、100名を超える方々の参加を頂きました。

地区医師会の先生及び当院医師から医療安全をメインテーマにした講演のほか、特別講演として、医師でありプロの落語家（芸名：立川らく朝）でもある、表参道福澤クリニック院長の福澤 恒利先生に「落語家と医師 二足のわらじの履き心地」というテーマでご講演いただきました。

今後も、地域の先生方との連携を深め、地域の皆様のお役に立てる病院を目指してまいります。

カルシウムたっぷりのおかず

効率よくカルシウムがとれるスキムミルクで・・・。

（一人分のスキムミルクのカルシウムは牛乳2/3カップに匹敵します）

豆腐としらすの落とし揚げ（4人分）

- ① 木綿豆腐1丁（300g）はおもしに皿などをのせて2～3時間おき水気を切る
- ② 万能ねぎ20gは細かく刻む
- ③ 豆腐を手で崩し、卵1ケ、スキムミルク50g、生姜汁小さじ1杯、しょうゆ小さじ1杯、塩小さじ1/6杯、コショウ少々を加えてよく混ぜ、しらす干し大さじ3杯と②を混ぜる
- ④ 揚げ油を180度に熱し、③をスプーンを使って丸めながら落とし入れて、揚げる
(210Kcal 塩分1.1g カルシウム306mg)

「健康講座」開催のご案内

- 1月** 日時 平成24年1月24日（火）
場所 大阪鉄道病院 講堂（3階）
講師 大阪鉄道病院 栄養士室
管理栄養士 木村 京子
内容 食事ですっかり
体重コントロール
～ご飯を減らすだけでは大間違い～
- 2月** 日時 平成24年2月28日（火）
場所 大阪鉄道病院 講堂（3階）
講師 大阪鉄道病院 看護部
緩和ケア認定看護師
山田 千幸
内容 緩和ケア
- 3月** 日時 平成24年3月13日（火）
場所 大阪鉄道病院 講堂（3階）
講師 大阪鉄道病院 呼吸器内科
部長 藤井 達夫
内容 未定

★定員60名・無料

★予約は不要です

どなた様も、ご自由にお越し下さい。

第38回 病診連携による生涯教育研修会

日時：平成23年9月17日（土）14:00～

場所：天王寺都ホテル 電話 06-6628-3200

研修会：吉野東の間（6F）14:00～17:00

プログラム

開会のご挨拶

総合司会：東住吉区医師会 会長 森澤 康二 14:00～14:10

第1部：シンポジウム「医療安全」 14:10～15:25

座長：東住吉区医師会 副会長 田島 幸兒
大阪鉄道病院 胸部外科部長 赤見 敏和

演者：

- (1) 「大阪鉄道病院における医療安全への取り組み」
大阪鉄道病院 看護部 副看護部長 岡田 みどり
- (2) 「医薬品安全管理における実例報告
～ハイリスク薬を含めた入院時持参薬を中心に～」
大阪鉄道病院 薬剤部 薬剤師 八代 哲也
- (3) 「大阪鉄道病院における院内感染制御の取り組み」
大阪鉄道病院 外科 医長 清水 啓二
- (4) 「東住吉区民とすすめる医療安全の取り組み」
東住吉区医師会 理事 藤村 浩人
- (5) 「安全は安全を担保できますか」
大阪府医師会医事紛争特別委員会
顧問、東住吉区医師会 監事 大城 孟

第2部：大阪鉄道病院 全科代表挨拶 15:25～15:50

進行：大阪鉄道病院 診療部長 後藤 一平、 医務部長 清水 誠治

—— 休憩（15:50～16:00） ——

第3部：特別講演 16:00～17:00

司会：大阪鉄道病院 副院長 北川 良裕

「落語家と医師 二足のわらじの履き心地」

講師：立川らく朝 落語家・医師（表参道福澤クリニック院長）

大阪府医師会生涯研修認定 2.5単位

閉会のご挨拶

大阪鉄道病院 院長 岸本 三郎

17:00～